

記念式典・懇親会へのご参加ありがとうございました!

つぎの100年に向けて
「オール追手門で」
進んでいきましょう!



校友会 山桜会 会長 平泉 憲一 (茨木高25期)

100周年を迎えた山桜会は、6月26日に、ホテルニューオータニ大阪にて記念式典・懇親会を開催いたしました。この度はできるだけ多くの会員にご参集いただきたく、恩師の



先生や一部の来賓の方々を除き、参加者を卒業生である会員に限らせていただきました。にもかかわらず1200名を超える方々にご参加いただき本当にありがとうございました。

このように多くの卒業生が一同に会したのは山桜会の歴史の中でも初めてとのことで、会場は写真のとおり熱気に溢れ、さらなる100年に向けて大きな契機となったと感じております。



式典では小学校太鼓クラブによる「桜太鼓」、西田真由子さんに国歌を斉唱いただきました。また懇親会では各校の先生方に合奏いただき茨木中高・大手前中高の約100名の合同ブラスバンド部の皆さま

にも演奏いただきました。皆さまありがとうございました。

さらに山桜会評議員も100周年記念合唱団を結成し、会員である上田 益さん(大手前高23期)作曲の「大切なふるさと」を合唱、私も含めて1年以上前から練習を重ねた渾身の熱唱でした。そしてフィナーレは借行社附属小学校校歌、追手門学院学院歌を10代から90代までの世代を超えた1200名の大合唱は本当に圧巻でした。

100周年記念式典・懇親会は、それ以前の様々なプレ企画を含めて追手門で「人としての原点」を学んだ私たちがこれを「こころのふるさと」として再確認しオール追手門で未来へ繋げることを目的として行ったものです。

準備・実行に際しては、山桜会理事・評議員の皆さまをはじめ多くの方々から多大なご尽力を賜りました。母校や山桜会のために献身的な活動をいただいた皆さまを心から敬服するとともに、このような皆さまと大きな節目と一緒に準備できたことを光栄に思います。本当にありがとうございました。

今後はこの山桜会パワーをさらに発展させるとともに、学院、大学校友会の皆さまと連携を深めて、オール追手門で未来へ繋げていきたいと考えております。追手門及び山桜会のさらなる100年後に向かって、みなで楽しく頑張っていきましょう。

歴史的な 記念式典



追手門学院 理事長

川原 俊明 (小71・中高14期)

校友会山桜会設立100年を心からお喜び申し上げます。

1916年(大正5年)、大阪借行社附属小学校第八代校長・片桐武一郎先生が桜会という同窓会を結成され、それが山桜会に承継。今日の隆盛につながりました。同窓会が100年続くというのは、極めて珍しい現象です。同窓会組織を維持するために、平泉会長をはじめとする執行部のみなさん、そして先輩方の並々ならぬご努力の賜と感謝申し上げます。

それにしても、6月26日、ホテルニューオータニで開催された記念式典・懇親会に1200名を超える卒業生が一堂に会したのは開学以来のこと。まさに歴史的なパーティーでした。



学院も、創立130周年を2年後にひかえ、全学的な教学改革を徹底し教育力を向上させます。そして大胆に挑戦します。新キャンパス地の確保です。茨木市のJR新駅近くに約2万坪のキャンパス地を確保。大学2キャンパス体制 茨木の中高全面移転 2019年4月開校をめざします。



小学校も、悲願が実現します。キャンパス拡充に成功しました。小学校北側に用地を確保したのです。グラウンドは、昨年から人工芝になりましたが、今度はキャンパスそのものの拡張です。東館も建替えます。時代の潮流に合わせ、英語教育の完全見直しで勝負します。

学院130周年のスローガンとして「現代未聞 追手門」を掲げました。

「前代未聞」と違います。「現代未聞」です。新しい造語です。改革路線を突き進む今の追手門学院にふさわしいスローガンです。

130年の伝統を尊重しつつも、伝統の殻を打ち破り、未来社会に対応する学園を築きます。山桜会のみなさんとともに母校を発展させましょう。

山桜会100周年、誠におめでとうございます。

